

AICA

土木建築用修復材

JOLYSEAL

断面修復用準軽量エポキシ樹脂モルタル

APモルタル ジョリシール JB-18L^S(夏型) ^W(冬型) JE-9001

APモルタルは、コンクリートの欠損部に充てんして断面修復するエポキシ樹脂モルタルです。

用途

- コンクリートの柱、梁、壁等の断面修復。

特長

- 薄塗りしてもモルタルのようにドライアウトしません。
- 垂直面に厚付してもダレ落ちがなく部分修復が容易です。
- 断面修復後、翌日に次工程に移れます。

(JB-18L:JAIA F☆☆☆☆)



◆梱包容量

JB-18L 3kgセット×4セット梱包
(主剤：2kg、硬化剤：1kg)

JE-9001 3kg×3袋/箱を2箱バンド掛

【標準使用セット・JB-18L 4セット梱包×1
・JE-9001 2箱バンド掛×2】

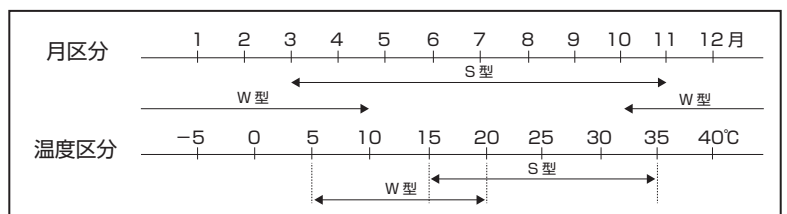
(断面修復材用防錆プライマーJBX-125 0.8kgセット×12セット梱包)



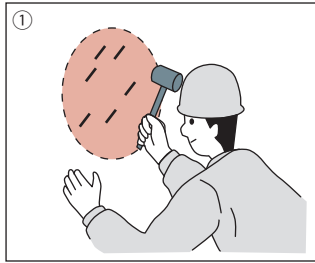
◆性状

外観	主剤 (JB-18LA) 硬化剤 (JB-18LB) 骨材 (JE-9001) 混合物	白色マヨネーズ状 褐色マヨネーズ状 灰黄色～灰黒色粒状 灰黄色～灰黒色パテ状
主成分	主剤 (JB-18LA) 硬化剤 (JB-18LB) 骨材 (JE-9001)	エポキシ樹脂 ポリアミドアミン 硅砂、バルーン
配合比	主剤/硬化剤/骨材 (重量比)	2/1/9
可使用時間	夏型 (S) 冬型 (W)	85±30分 / 23℃ 50±20分 / 23℃
硬化 (目安)	夏型 (S)/20℃ 冬型 (W)/10℃	初期 実用 完全 18時間 2日 7日 1日 2日 10日
比重	硬化物 (JIS K 7112)	1.6±0.1

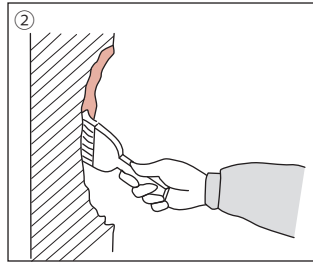
※上記数値は、規格値ではありません。



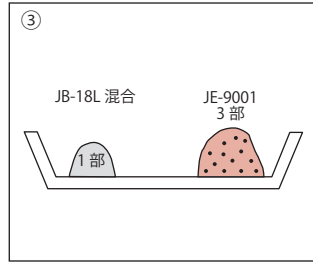
◆施工方法



① テストハンマー等で欠損部に軽い打撃を与え欠損部周辺の脆弱部を除去するとともにほこり、鏽、脆弱部などは除去し、清掃して乾燥させてください。



② プライマーはJBX-125(断面修復用防錆プライマー)をハケ等で塗布してください。(塗布量約0.5~1kg/m²)



③ JB-18L混合液 1部に対して、JE-9001(専用)を3部加え、樹脂モルタルをつくります。APモルタルの割合は、JB-18Lの可使用時間内に使用できる量とします。



④ プライマーの粘着性のあるうちにAPモルタルを金ゴテで下地にすり込むように施工します。更に金ゴテにて平滑に仕上げます。施工面に雨・雪・振動などを加えないように硬化養生します。

APモルタルの品質

試験項目	試験方法	単位	社内規格値	測定値* [20℃.7日間養生]	
				夏型(S)	冬型(W)
ダレ	社内法	—	ダレ認めず	ダレ認めず	ダレ認めず
曲げ強度	JIS R 5201	N/mm ²	10以上	16.5	16.1
圧縮強度	JIS R 5201	N/mm ²	24以上	34.4	33.5
接着強度 (コンクリート)	建研式	N/mm ²	1以上	2.8	2.8

*測定値であり、保証値ではありません。

安全上のご注意

1. 注意

1-1 作業前の確認

取扱い作業に際しては、説明書、安全データシート (SDS) などで、注意事項を確認して下さい。

1-2 取扱い場所

- (1) 火気のあるところでは、使用しないで下さい。
- (2) 取扱い作業所には、局所排気装置を設けて下さい。

1-3 取扱い方法

- (1) 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用して下さい。
- (2) 容器からこぼれた場合には、布 (ウェス) で拭きとって、安全な場所に廃棄して下さい。
- (3) 取扱い後は、手洗い及びうがいを行って下さい。

1-4 応急措置

- (1) 作業衣等に付着した場合には、その汚れをよく落として下さい。
- (2) 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み、又は外観に変化がある時には、医師の診断を受けて下さい。
- (3) 目に入った場合には、多量の水で洗い流し、早く医師の診断を受けて下さい。
- (4) 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- (5) 誤って飲み込んだ場合は、早く医師の診断を受けて下さい。

1-5 保管方法

- (1) 密栓の上、危険物倉庫に保管するか、指定数量以下の場合は、火気のない5~35℃の直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- (2) 子供の手の届かない所に保管して下さい。

1-6 補修工事用以外の使用禁止

- (1) 本来の用途以外には、使用しないで下さい。

1-7 廃棄方法

- (1) 河川等の環境中に投棄、及び漏出させないで下さい。
- (2) 廃棄物の処理、及び清掃に関する法律、及び都道府県条例等に基づき、中身を使いきってから焼却するか、許可を受けた処理業者に委託して下さい。

2. 法規制

(1) 消防法

・JB-18L

A (主剤) ・B (硬化剤) とともに下記の通りです。

火気厳禁
指定可燃物
可燃性固体類

・JE-9001

非該当

記載の内容やデータは、当社の試験研究および調査によるもので、十分信頼しえるものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を保証するものではありません。また、使用目的、使用条件により相違する場合がありますのであらかじめご需要家各位で試験等のご確認をお願いいたします。

共通項目

- 本カタログに記載されている製品の使用、取扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合わせてお読みください。
- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したものではありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合がありますので、予めご需要家各位でご確認されることを推奨します。

カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページにてお受けしております。

<http://www.aica.co.jp/>

アイカ工業



●アイカカタログセンター ●商品のお問い合わせはアイカ問合せセンターまでお願いいたします。

TEL<052>409-1471 FAX<0120>525-100 TEL<052>409-8313

*問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店所の営業日は、月～金(除く:土日祝休)です。ホームページからのカタログ・サンプル当日出荷の受付締め時間は14:00です。
*フリーダイヤルは、携帯電話・PHS一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

業務用

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認はアイカ問合せセンターまでお願いいたします。
- 前受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。(後に発見された場合は、責を負いかねます。)

- 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

AICA アイカ工業株式会社



ISO 9001 認証取得 JQA-2019
ISO 14001 認証取得 JQA-EM0513
ISO 45001 認証取得 JQA-OH0017